

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課 体育振興室	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市保健体育振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 22年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期
(小項目)		スポーツ・レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興			
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 5月最終水曜日午前0時から午後9時までに鳴門市内にいる人が参加対象であり、15分間以上継続して運動やスポーツ等の身体活動(運動)を行うと参加となる。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	心身のリフレッシュを図り、健康づくりを推進するため、いつでも、どこでも誰でも、手軽で気軽に取り組めるスポーツの機会をつくる。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加率</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>60.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位	参加率	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	%
		指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位								
参加率	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	多くの市民の皆さまに参加していただき、目標を達成するために、各団体にイベント開催依頼及びPR活動等に取り組み、シーカヤックやハワイアンフラなどの様々なイベントを開催した。																													
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>24年度実績</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度目標</th> <th>27年度目標</th> <th>28年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td>1 参加者数</td> <td>38,212</td> <td>22,845</td> <td>37,000</td> <td>37,000</td> <td>37,000</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標</td> <td>参加率</td> <td>61.7</td> <td>36.9</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td></td> <td>61.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>		指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 参加者数	38,212	22,845	37,000	37,000	37,000	人	成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	参加率	61.7	36.9	—	—	—	%	目標達成率(実績/目標)		61.5	—	—	—	%
指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位																									
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 参加者数	38,212	22,845	37,000	37,000	37,000	人																								
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	参加率	61.7	36.9	—	—	—	%																								
	目標達成率(実績/目標)		61.5	—	—	—	%																								

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	200	200	300	300	300	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	200	200	300	300		300
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		6,517	6,517	6,517	6,517	6,517	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		6,717	6,717	6,817	6,817	6,817	千円	

【事務事業名：市民総参加型スポーツイベント実施事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	5月の最終水曜日に、鳴門市内の市民等を対象に、チャレンジデーを通じてスポーツが心身の健全な発達、健康及び地域のコミュニティーづくりに不可欠なものであり、継続的にスポーツに取り組んでもらう機会として、いつでも、どこでも誰でも、手軽で気軽に取り組めるスポーツ種目を提供している。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	生涯スポーツ、健康づくりのきっかけとして、必要なイベントである。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 生涯スポーツの振興 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	補助金額が少なくなってきたため、イベント内容・規模を見直す必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チャレンジデーを通じて、スポーツが心身の健全な発達、健康及び地域のコミュニティーづくりに不可欠なものであることを広く周知してきたが、今回のチャレンジデーの参加率が昨年より低下したことから、参加率の向上に向けた取り組みを検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成26年度 ▼ 5月 ▼			
	どのように改革するのか	チャレンジデーの開催について早めのPR活動を行うとともに、事業所への参加依頼や量販店前での参加報告の受付など、参加報告方法を見直し、チャレンジデーの参加者数を的確に把握し、参加率の向上に取り組む。			